

双ヶ丘中だより



京都市立双ヶ丘中学校 1/26 第27号 文責 林

学校教育目標 「自らの未来を切り拓く、心豊かな生徒を育成する」

2年生 ポスター発表

1月24日（水）に、2年生はポスター発表を行いました。ポスター発表は、自分でテーマを決めて課題を見つけるところから始まります。そして課題についての仮説を立てます。その後、探究活動を進めて仮説が正しいか検証していきます。探究活動の内容をポスターに書いて発表します。ポスター発表



をすることで「活用」能力を高め、コミュニケーション力を伸ばすことをねらいにしています。

今回のテーマは11月に多くの事業所の皆様にご協力をいただき実施したチャレンジ体験です。チャレンジ体験を通して探究したことをポスターにして発表しました。2年生の生徒は、観衆を前にして大きな声でわかりやすく伝えていました。観衆から出される質問にも丁寧に答えて、活発な意見交流ができていました。1年生は観衆として参加してくれました。1年生は、先輩の発表を聞いたり、質問したりしてポスター発表を体験しました。2年生になって自分たちがポスター発表をする時に今回の体験を役立ててください。



体育館はたいへん寒かったのですが、お世話になった事業所の方や地域の方、PTAの方も来校され、ポスター発表を聞いていただきました。ありがとうございました。

ふれあいトーク

ポスター発表に続いて、「ふれあいトーク」を行いました。「ふれあいトーク」は、今年度から新しく始めた行事です。中学生の考えや思いを大人の方に聞いてもらい、時には人生の先輩である大人の方からアドバイスを受けるなどして意見交流をしようというものです。50名を超える事業所の方や地域の方、はぐくみネットワークの皆様、PTAの方に参加していただきました。体育館は底冷えがしましたが、寒さを吹き飛ばすような熱いトークが繰り広げられ、あちこちから笑い声も聞こえていました。

今回のテーマは、チャレンジ体験で学んだことや働くことの意義などでした。チャレンジ体験で働くことの楽しさやしんどさを学んだ2年生が、自分の考えや思いを大人の方に伝えていました。大人の方は自身の体験を話されるなど活発な意見交流ができました。参加された大人の方からは、「子どもたちが自分たちの経験をよく話してくれたと思います。中学生は難しい年頃と言われますが…とても良い子たちでした。」「中学生のみなさんと話す機会はめったになく、また地域の様々な立場の方がフリーに話せる機会は貴重でした。」「今時の子どものことはテレビ等で聞いていましたが、笑顔で話し合いができ、頼もしい思いをしました。」などの感想をいただきました。短い時間でしたが有意義な、そして朗らかな時を過ごすことができました。今回の「ふれあいトーク」をきっかけにして地域でも交流が進むことを願っています。



（裏面に2月の行事予定をのせておきます。どうぞご覧ください。）